

2022年度事業報告について

総括

2022年度は「絆の会5か年中期事業計画」が2年目となり、「法人運営基盤の強化」のための一つである人材育成として、新たに中堅職員研修を行い、必要な資質について、また、所長と職員との間で大事なつなぎ役となる役割について学んだ。相談支援のスキルアップを目指して行った面接技法の研修では、各事業所代表者が受講し、後日研修内容を職員全体へ伝達した。「一人一人の希望や障害特性に沿った支援のための事業展開」では、利用者の高齢化や、障害種別の多様化などに対応するため、働く場の事業形態や、作業種目について引き続き検討してきた。さらに「地域活動支援センターの在り方検討会」では地域活動支援センター「皆神ハウス」の若里地区への移転を、「グループホームの在り方検討会」では、老朽化した「リアン若里」の移転を検討、「リアン若里」は松岡地区への移転が決まり名称も「リアン松岡」として2023年度からの新たな歩みに向け、準備した。

3年間続くコロナ禍で、人との交流や会話の機会が制限される中、各事業所では少人数単位でできる行事等を工夫して行い、新規の通所やショートステイの受け入れにおいても感染予防対策を徹底して、ニーズに应运えてきた。研修はオンラインが定着してきたが、感染の落ち着きと共に、対面の方がわかりやすく習得しやすいという意見が多くなり、コロナ禍においても次第に対面で行う研修、会議が増加してきた。

行事においては、11月に誰もが暮らしやすい地域づくりの実現に向けた「地域移行支援関係者研修会」と、法人の最大の催しである「絆フェスタ」を同日開催した。絆フェスタでは、フーちゃんこと富永房枝さんをお招きし、絆の会合唱団とのコラボも行った会場は美しい音色やハーモニーに包まれた。当日は利用者がステージ発表全体の進行を担い、ボランティアは「喫茶りんどろ」の1日復活、家族会は色を統一した絆の会のポロシャツ着用で野菜を販売するなど、4本柱それぞれが活躍し全体の力を結集する場となった。

2023年10月開催予定の「絆の会法人化20周年記念事業」へ向けては所長会中心に「語り合い、学びあい、未来へつなぐ」のテーマを掲げ、4本柱で基礎となる「語り合い」の部分積み重ねてきた。毎月開催の「絆カフェ」は、ボランティアだけでなく、当事者、家族のつながりの場、憩いの場となっている。家族会は毎月の家族役員会、県外研修への参加等で活性化してきた。当事者会「ひまわりの会」では、“事業所の枠を越えた当事者同士の交流”の場として、「ひまトーク」を開催し交流を図った。

一方でここ近年、思うように職員の人材確保ができないという課題もある。事業内容の見直しや事業規模の縮小を検討すること、さらに働きがいに通じるスキルアップや事業所内の円滑なコミュニケーション等職場環境の整備を行うとともに人材育成にも力を入れていく必要がある。国に対しても障害者差別をなくし、安定した事業所運営を求めて運動を継続し、絆の会の4本柱の結束で新しい年度へ向け望みをつなぎ、2022年度の報告とする。

I - 1 法人本部事業

1 会議等の開催状況

(1) 理事会、評議員会について（理事会 6 回、評議員会 1 回開催）

会議名	日付	審議内容	出席者
第 1 回 理事会	2022年 6 月 9 日	報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について 審議事項 ・ 2021年度事業報告（案）について ・ 2021年度決算報告（案）について ・ 就労支援事業における設備等整備積立金の積み立てについて ・ 地域活動支援センター皆神ハウスの開館曜日の変更について ・ 規定又は規則の一部改正について ・ 定時評議員会の招集について	理事 8 名中 6 名出席 監事 2 名中 1 名出席
定時 評議員会	6 月 24 日	報告事項 ・ 2021年度事業報告について 審議事項 ・ 2021年度決算報告（案）について	評議員 9 名全員出席 理事 4 名出席 監事 2 名出席
第 2 回 理事会	7 月 29 日	審議事項 ・ 給与規程の一部改正について ・ 施設整備積立資産の積み立てについて	理事 8 名全員の書面同意（みなし決議）
第 3 回 理事会	9 月 26 日	審議事項 ・ 規則又は規定の一部改正について	理事 8 名全員の書面同意（みなし決議）
第 4 回 理事会	11 月 17 日	報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について ・ 2021年度中間事業報告について 審議事項 ・ 2021年度資金収支補正予算について ・ 細則及び規定の一部改正について	理事 8 名中 7 名出席 監事 2 名中 1 名出席
第 5 回 理事会	2023年 1 月 25 日	審議事項 ・ 「リアン若里」の移転及び改修工事について	理事 8 名全員の書面同意（みなし決議）
第 6 回 理事会	3 月 16 日	報告事項 ・ 理事長及び業務執行理事の職務執行状況について ・ 「リアン松岡」の開設について ・ 職員の処遇改善について ・ 「絆の会松代温泉駐車場事業」について 審議事項 ・ 地域活動支援センター「皆神ハウス」の移転について	理事 8 名中 7 名出席 監事 2 名出席

会議名	日付	審議内容	出席者
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸規定の一部改正について ・ 2023年度事業計画（案）について ・ 2023年度資金収支当初予算（案）について ・ 施設長等の選任及び解任（案）について 	

(2) 監事による内部監査

5月28日 監事による2021年度事業及び決算監査

(3) 事業運営のための諸会議

運営会議（理事長、副理事長、常務理事、各統括管理者、相談役）	9回
経営会議（三役、事務長、所長、主任、事務局職員、相談役）	2回
責任者会（理事長、統括施設長、各統括管理者）	45回
所長会	10回
所長・主任会	2回
主任会	4回
職員全体会	4回

(4) 苦情解決関係等

7月15日 苦情解決担当者等会議

（苦情解決第三者委員、苦情解決責任者、苦情受付担当者、理事長、副理事長）
虐待防止委員会

（虐待防止委員長、副委員長、委員（苦情解決第三者委員、各所長、事務長））

2 各種委員会・検討会等

(1) 絆の会サポート委員会	3回
(2) 職員処遇改善委員会	1回
(3) ホームページ管理運営委員会	11回
(4) ボランティア委員会	2回
(5) 当事者会（ひまわりの会）支援	10回
(6) 絆の会家族会支援	15回
(7) グループホーム入退所等委員会	9回
(8) 災害・感染症等対策委員会	4回
(9) 絆フェスタ実行委員会	7回

3 寄附金収入について

支援金 3,051,444円（315件） ※前年度 2,823,350円（295件）

4 事業一覧

(1) 社会福祉事業

- ① 多機能型事業 1か所
 - 就労移行支援事業
 - 就労定着支援事業
 - 就労継続支援B型事業
- ② 就労継続支援B型事業 2か所（3事業所）

- ③ 共同生活援助事業 1か所 (4グループホーム)
- ④ 短期入所事業 1か所
- ⑤ 自立生活援助事業 1か所
- ⑥ 地域活動支援センター 1か所
- ⑦ 相談支援事業 1か所
指定特定相談・指定一般相談
- ⑧ 受託事業
長野市障害者相談支援事業
長野市障害者地域移行支援事業

(2) 収益事業

絆の会松代温泉駐車場事業

5 施設、設備整備等について (主なもの)

(円)

施設名	整備内容	補助事業等	事業費	配分金額
法人本部	ノートパソコン2台	-	226,600	-
悠友ハウス	ノートパソコン	-	113,300	-
あんだんて	レジスター	-	162,580	-
びーんず	ノートパソコン	-	113,300	-
リアン若里	屋根改修工事	(公財) 中央競馬馬主社会福祉財団	2,300,000	1,310,000
(新) リアン若里	改修工事	-	3,639,487	-
みらいコーポ稲葉	ノートパソコン2台	-	226,600	-
皆神ハウス	更衣ロッカー デジタルカメラ	(福) 長野県共同募金会	104,260	100,000
絆の会相談室	ノートパソコン	-	113,300	-

6 職員の採用・退職等の状況

(1) 採用 (10名)

正職員0名、嘱託職員10名

(2) 退職 (14名)

正職員4名、嘱託職員10名

7 職員の資質向上のための研修

(1) 内部研修・当法人主催研修 (計10回)

日付	研修会の名称と内容
5月24日	【新任職員事業所見学】 法人事業所10か所を巡回し、その事業所の成り立ち等を聴き現在の様子を見学した。新任職員7名
6月16日	【新任職員研修会 I 講師：当法人職員】 1 絆の会の理念とあゆみ 2 病気と障害について 3 映画「夜明け前」 4 グループ

日付	研修会の名称と内容
	当法人の理念、歴史を知ることによって絆の会職員としての心構えを学び、病気・障害の理解など基本的な知識と支援技術の習得を図った。また、映画を通して日本の精神医学の父「呉修三」について学び、日本の精神保健福祉の現状を知る。入職3年未満の職員10名参加。
7月21日	【新任職員研修会Ⅱ 講師：当法人職員】 絆の会の4本柱である当事者、家族、ボランティア、職員それぞれの立場からのメッセージを通して、障害理解を深め、日々の実践に役立てるとともに法人の理解を深めた。10名参加。
8月1日	【職員全体研修 講師：行田太樹氏 信州まつもと心理オフィス】 「職場のメンタルヘルスケア～セルフケアについて～」誰にでも起こりうるメンタルヘルスの不調とその対処を学び、自分の処方箋を作成した。
8月31日	【中堅職員研修Ⅰ 講師：大池ひろ子相談役】 中堅職員としてのキャリアデザインを持ち、チームメンバーとして果たす役割について学んだ。私のキャリアメッセージを作成。9名参加。
9月16日	【中堅職員研修Ⅱ 講師：大池ひろ子相談役】 「私のキャリアメッセージ」を発表しあい、個人間・チーム間の葛藤の解決、チームの協力、スキルアップについて討議し深めた。9名参加。
9月27日	【新任職員研修Ⅲ 講師：大池ひろ子相談役】 県職においての出会いや経験から専門性に勝る「心」の重要性と、その場でやり過ぎさないコミュニケーションの大切さを意識することで、本人の希望や夢を聞き、意思決定に関わることができることを学んだ。13名参加。
10月13日	【面接技法 講師：三村仁志 長野県社会福祉士会事務局長】 事業所の代表8名が面接技法の基礎を学び、グループに分かれて実践練習を行った。 後日、就労部門グループと地域部門グループに分かれて伝達研修を行った。
11月8日	【精神障害者地域移行支援関係者研修会】(福)長野県共同募金会助成事業 講演：江間由紀夫 佐久大学人間福祉学部人間福祉学科教授 「生活」支援を考える-支援ありきではない生活支援-について講演した。 シンポジウム：「誰もが地域で暮らし続けるために」をテーマに、障害当事者、民生委員、ケースワーカー、精神保健福祉士がそれぞれの立場で何ができるかを話し合った。参加者105名。
12月9日	【職員全体研修 講師：三村仁志長野県社会福祉士会事務局長】 障害者の権利条約と第1回対日審査、総括所見について学び、日本の現状、向かうべき方向について話し合う時間を持った。

(2) 利用者支援のためのケース検討会

就労部門と地域生活部門 各2回、合計4回

参加者：精神科医師、精神保健福祉士、職員等

(3) 資格取得のための研修会

サービス管理責任者研修 3名

相談支援従事者主任研修 1名

相談支援従事者初任者研修 1名

(4) 福祉職員生涯研修（長野県社会福祉協議会主催）

新任職員課程 4名

管理者課程 1名

(5) 県内外の各種研修会への参加

日付	研修名	主催	場所	人数
4/30	第79回こんぼ亭 働くことをあきらめない！	地域精神保健福祉機構・コンボ	Zoom	3
5/15	精神障がい者と家族のための市民公開講座 みんなで統合失調症を学ぶ	「精神障がい者と家族のための市民公開講座」事務局	Zoom	1
6/20- 6/24	サービス管理責任者 基礎研修対応相談支援従事者初任者研修講義部分	長野県相談支援専門員協会	e-ラーニング	1
6/27- 7/21	令和4年度長野県サービス管理責任者（基礎研修）	長野県相談支援専門員協会	e-ラーニング、Zoom	3
7/7、8	2022年度第9回清水基金国内研修	清水基金	Zoom	1
7/15- 9/30	令和4年度長野県相談支援従事者（初任者研修）	長野県相談支援専門員協会	e-ラーニング、Zoom	1
7/21、 29、8/4	令和4年度就業支援基礎研修	長野障害者職業センター	ポリテクセンター松本	1
7/15～ 2/17 (計5回)	きょうされん 2022年度全国の事務担当“つながる”チャンネル	きょうされん	Zoom	2
7/21- 8/31	精神保健福祉担当者基礎研修会	長野県精神保健福祉センター	YouTubeにて動画視聴	2
7/26	千曲・坂城地域自立支援協議会 地域連絡会	千曲・坂城地域自立支援協議会	千曲市ふれあい福祉センター	1
7/25- 9/30	令和4年度第1回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	YouTubeにて動画視聴	8
8/10、 9/1	OJTリーダー養成研修	長野県社会福祉協議会	千曲市総合観光会館	2
8/27	STOP!!身体拘束 緊急集会 in 長野	NPO法人ポプラの会	Zoom	6
8/30	精神障害者の退院支援・地域生活支援連絡会	長野市保健所	ホクト文化ホール	1
9/30、 10/1	きょうされん第45回全国大会 in 東北・いわて	きょうされん	陸前高田市総合交流センター	2
10/4	食品衛生責任者実務講習会	長野県食品衛生協会	若里市民文化ホール	1

日付	研修名	主催	場所	人数
10/11	令和4年度第2回職場適応援助者養成研修修了者サポート研修	長野障害者職業センター	Teams	1
10/14	せいしれん GRANDFINALE	せいしれん	信州の幸あんずホール	3
10/31	就労継続支援B型事業所工賃向上研修～アセスメント編～	株式会社インサイト	Zoom	1
11/7- 12/12	第18回日本グループホーム学会 オンライン全国大会	日本グループホーム学会	動画視聴	3
11/9- 12/8	令和4年度長野県相談支援従事者主任研修	長野県相談支援専門員協会	Zoom、動画視聴	1
11/10、 11、 12/15	福祉職員生涯研修【新任職員課程】	長野県社会福祉協議会	ホクト文化ホール	4
11/26	2022年度きょうされんオンライン専門講座	きょうされん	Zoom	1
11/28- 12/2	令和4年度長野県サービス管理責任者（更新研修）	長野県相談支援専門員協会	e-ラーニング、Zoom	1
12/14、 21	精神保健福祉士実習指導者講習会	有限会社ホットラインワールド	Zoom	1
12/17、 18	就労支援フォーラム NIPPON 2022	日本財団	オンライン	5
12/21	令和4年度第2回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	Zoom	5
12/23	福祉職員生涯研修【新任管理者課程】	長野県社会福祉協議会	上田市真田中央公民館	1
1/28	国連委員会からの勧告を受けて「その先へつなげる」こととは	全国精神障害者地域生活支援協議会	Zoom	1
2/10	令和4年度指定障害福祉サービス事業者等集団指導	長野市	長野市役所	1
2/10	令和4年度第3回障害者虐待防止・権利擁護研修会	長野市	長野市役所	1
2/20	対人援助職における感情労働とは～感情コントロール技術と精神的支援の方法～	長野県社会福祉士会、長野県社会福祉法人経営青年会	Zoom	3
3/1	ひきこもり支援者研修会	長野市保健所	Zoom	1

8 研修会等への講師の派遣（計10回）

日付	内容	主催	場所	氏名
6月11日	「私たちが使える福祉サービスについて学ぼう」	NPO 法人ポプラの会	トイゴ	西川洋介
6月14日	「農福連携ワークショップ」パネルディスカッション	信州そるがむで地域を元気にする会	信州大学工学部	志村朋美
7月8日	精神看護学方法論	長野保健医療大学	長野保健医療大学	西川洋介
7月26日	第2回地域連絡会「皆神ハウスの活動について」	千曲坂城地域自立支援協議会	千曲坂城基幹相談支援センター	坂口和美
9月21日	精神障害のある利用者との関わりについて	ブルースカイ親の会	かえるの家(松代)	坂口和美
10月17日	川中島町民生児童委員協議会「精神障害について」	川中島町民生児童委員協議会	川中島公民館	西川洋介
11月10日	よりよい支援会議について	長野市手をつなぐ育成会	長野市ふれあい福祉センター	西川洋介
11月16日	障害者職業生活相談員資格認定講習	高齢・障害・求職者雇用支援機構	ホテル信濃路	荒谷麻美子
11月23日	精神障害・知的障害の理解	(一社) 社労士成年後見センター長野	長野県社会保険労務士会	中澤信
3月1日	卒業記念講演会「自分らしく生きる～絆の会と4本柱～」	長野看護専門学校	長野看護専門学校	土井まゆみ

9 当事者・家族・ボランティア活動への支援

(1) 当事者活動への支援

① 当事者会（ひまわりの会）の支援 役員会 10回（打合せ会議 11回）

コロナ禍の影響を受け、役員会を中止した月もあったが、オンラインでの開催に挑戦した。また、ひまわりの会の目的の一つである“事業所の枠を越えた当事者同士の交流”として、「集まって楽しい話をする会」として『ひまトーク』を開催した。引き続き定期開催を希望する声が上がっている。「きょうされん第45回全国大会 in 東北・いわて」にもひまわりの会から費用補助を支出し、3名の利用者が参加した。

<活動内容>

きょうされん第45回全国大会 in 東北・いわてに参加（9月30日、10月1日）

第9回定期総会を書面決議にて実施（10月21日）

きょうされん第14回利用者学習交流会に参加（2月10日）

「ひまトーク」を開催（3月17日）

② スポーツ活動（ソフトバレーボール）

スタッフ会議 年8回実施

メンバーミーティング 年1回実施

毎週水曜日 13：30～16：00 長野市中部勤労青少年ホームにて活動。

・ 第22回全国障害者スポーツ大会 精神障害者バレーボール競技 北信越・東海地区ブロック予選会

2022年6月11日（土）、12日（日）三重県「いちご一会とちぎ大会」結果：3位

・ 令和4年度北信地区スポーツ交流会（ソフトバレーボール大会）

2022年6月24日（金）長野運動公園総合体育館（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

・ 令和4年度長野県障がい者スポーツ大会（ソフトバレーボール大会）

2022年9月11日（日）開会式：松本平広域公園陸上競技場、競技会場：朝日村農業者トレーニングセンター体育館（新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止）

③ 絆の会合唱団活動報告

練習日 毎月第2、第4火曜日

練習回数 19回

練習曲 「にんげんっていいな」「にじ」「その手の中に」「折り鶴」「群青」

演奏・出演 7/26 雨あがりミニコンサート

9/24 ふれあい音楽祭(篠ノ井ライオンズクラブ主催)

11/8 絆フェスタ(ふーちゃんとかラボ演奏)

3/11 春を呼ぶコンサート「3.11 福島、東北をわすれない」

3/28 2022年度ありがとうミニコンサート

(2) 家族会への支援（事業報告は別紙）

① 会合や研修会の出欠席の取りまとめと名簿作成

② 家族会費の徴収

③ 役員会（月1回）への出席

④ 研修会への情報提供（お誘い）

※運営については相談や調整役に徹し、ご家族の主体的な活動を大事にしている。

(3) ボランティアの活動状況（ボランティア登録人数 75名 延人数 87名）

① 各事業所ボランティア（各事業報告に記載）

② 精神保健福祉ボランティア養成講座

日程 2023年1月26日、2月2日、2月9日、2月28日

場所 法人本部多目的スペース（Zoomを活用しオンラインでも参加可とした）

参加者 27名（一部参加者含む）

内容 「精神保健福祉の制度や障害について」「病気の理解」「関わり方」等の講義
障害当事者、家族、ボランティア、職員の体験発表

講師 川中島Fメンタルクリニック 福家知則氏、当法人職員他

ボランティア体験実習 2月13日から2月24日の間の2日間（希望日による）

2月28日、修了証書を5名に授与

③ ボランティア委員会の活動（5月、1月 全2回）

④ ボランティアだより発行（8月）

⑤ 絆カフェの開催（毎月第3木曜日）

- ⑥ 精神保健福祉ボランティア養成講座への協力・ボランティア体験発表
- ⑦ 絆の会ボランティア名簿の整理

10 広報・普及活動

- (1) 第12回絆フェスタ 2022年11月8日(火) 14:00~16:00 参加者200名余
 - ステージ企画① 富永房枝さん(足指のキーボード奏者)
 - ・「翼をください」、「G線上のアリア」他
 - ・絆の会合唱団とのコラボ「折鶴」他
 - ステージ企画② 絆の会4本柱それぞれの思いを伝える
- お楽しみ抽選会
- 販売(ホワイエ)
- 各事業所自主製品の販売、喫茶りんどろ「コーヒー販売」、野菜販売
- 外部協力(芹田小学校、ベーカリーCoCo、長野牛乳株、長野県共同募金会)
- (2) 「ハートレター絆」の発行(ボランティア2名)
 - 年5回(第115~119号)各500部発行
 - 若里地区内(南市、北市、若里中央、上千田、荒木、若里西町)の回覧
- (3) ホームページによる発信(ボランティア2名)
 - 日常の様子や研修情報など、ブログ・インフォメーション等随時更新
 - ショートステイの予約状況についてアクセスしやすくなり、利用率向上につながった。

11 障害者の地域生活向上に向けた取組

- (1) 長野市障害ふくしネットへの参加
- (2) きょうされん、せいしれん等他団体との連携、協同
- (3) NPO法人ポプラの会との連携(運営会議・スタッフ会等への定例的出席)
- (4) 障害者福祉推進のための活動への参加(署名活動や全国集会への参加)

12 苦情内容及び結果

申出人	件数	内容	結果
利用者	1	グループホームの巡回の職員の対応、言葉、態度に誠意が感じられない。	苦情解決責任者が本人と面談の時間を持ち、本人の話を十分に聞くとともに職員とも面談をし、解決した。
地域住民	1	地域に回覧されている絆の会の会報「ハートレター絆」について、「精神障害者は社会に迷惑をかけている。それを支援、擁護する内容が不快。」との理由で回覧を中止してほしいとメールで苦情。	住民自治協、長野市権利擁護サポートセンター、区長等に相談しながら、何度もメールのやり取りを重ね、こちらとしては今後も「ハートレター絆」を回覧し続ける方針であることを丁寧に説明した。

Ⅱ－1 2022年度 多機能事業所（就労移行支援・就労定着支援・就労継続支援B型） 事業報告

- 1 悠友ハウス就労支援センター（就労移行支援） 定員6名
長野市若里三丁目14番23号 TEL：026-219-5131 FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① プログラム内容の見直しと余暇の充実

生産活動では企業先での作業を3か所で実施しているが、分散していた作業日数を1日にまとめた。また、ワゴンカフェをB型作業に移すなど業務の見直しを図った。それにより1週間のスケジュールが利用者、職員共にわかりやすくなった。ワークサンプルではナプキン折りやピッキング、封緘作業を行い、職員はもちろん利用者自身が自分の特性や課題を知り、共有できた。ボランティアとの活動では太極拳や若里公園でのレクリエーションなどを行い、利用者との交流の場となった。

【課題】ワークサンプルから得られた結果をどのように支援に活かしていくかが課題。

② 個別支援の充実

一人ひとりに合わせた見学・実習先を積極的に開拓した（2022年度は29か所の企業で職場実習を実施）。結果、自分の得意なこと、不得意なことの発見や、働くイメージが具体的に持てるようになり、利用者が希望する職種への就職につながった。

【課題】利用者の希望に沿った見学・実習ができるように日頃から様々な企業との関係を大切にする。

③ 利用者増に向けた取り組み

公開講座は利用者が地域の方と共に学ぶ場として7回開催した。「自分の魅力再発見」をテーマに外部講師による表情や発声方法、ビジネスマナーについての講座や、就職者や企業担当者のお話などを実施した。一方で地域の方を含め、外部の参加が少なかった。

【課題】参加者に興味を持ってもらえるような公開講座の開催。

④ 職員の資質の向上

利用者対応など日々の困りごとについて、その都度話を聴く時間を作った他、週1回朝のミーティングの時間を伸ばし、皆で話し合う時間を増やした。利用者の状況確認と支援方法の確認の場となった。その他、外部研修に積極的に参加し、支援力の向上に努めた。

新規利用者2名、見学者9名。延べ利用者数：1,259名（2021年度1,593名）。

【課題】話し合ったことを実践・振り返り、次の行動につなげていく。

(2) 就職者状況

就職者：6名

就職先：トランコム株式会社、株式会社ツルヤ長野中央店・青木島店、学校法人信学会、
長野予備校、生活協同組合コープながの、ホテル国際21

(3) ボランティア支援状況

生産活動（大日本法令印刷）3名、余暇（太極拳）5名

2 悠友ハウス就労支援センター（就労定着支援）

長野市若里三丁目 14 番 23 号 TEL：026-219-5131 FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

① サービス終了を見据えた支援の実施と企業との関係構築

企業の困りごとに対して、迅速な対応を心掛けたことで、一部の企業から利用者について相談される場面が増え、一緒に問題解決に向けて考えることができた。またサービス終了に向けて関係機関への支援の引継ぎでは、開始直後から利用者との関係機関との面談場面を用意し、お互いを知る場を計画的に作った。それにより支援終了時にスムーズに支援の引継ぎができた。一方でサービス終了後、出勤が安定しない方の対応について関係機関とどのように連携していくのか課題が残った。

【課題】サービス終了後の就職者の状況について、関係機関との定期的な情報共有。

② 個別支援の充実

長期欠勤者には勤務形態に合わせた時間で所内作業を提供し生活リズムの維持に努め、職場復帰に役立った。また就職者同士の集いの場を3回開催。利用者からまた行いたいとの声もあり、内容を相談のうえ継続していく。

【課題】長期欠勤者に対して個々の利用者に応じたプログラムの提供。就職者同士の集いの場の継続。

③ 利用者増の取り組み

当法人B型事業所からの就職者に対して、就労支援チームと相談しながら支援を行った。結果1名が就労定着支援につながった。

【課題】B型事業所からの就職者に対して、就労支援チームと連携しながら支援する。

(2) 利用者状況（就業開始順）

人数：10名（男性8名、女性2名）

新規利用者：6名

勤続年数：1年未満 1名、1年以上2年未満 5名、2年以上3年未満 2名、3年以上2名

就職先：ホリデイスポーツクラブ長野、有限会社新潟屋、株式会社ツルヤ青木島店・須坂西店、尚和寮、千曲市役所、長野ベリーファーム株式会社、カイシンエレクトロニクス株式会社長野南工場・豊野工場、トランコム株式会社

3 悠友ハウス（就労継続支援B型） 定員 25 名
 長野市若里三丁目 14 番 23 号 TEL：026-219-5131 FAX：026-219-4701

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

- ① 利用者の特性に合った作業の充実
 軽作業では取引先に対してこまめな営業や、丁寧な作業を心掛けたことで受注量が増え、年間を通して1日作業できる作業量を確保した。アウトワーク作業では近隣にチラシをポスティング。新規で3件の作業を受注した。販売ではKizuna Shop主催のイベント販売を実施。地域に活動を知ってもらい良い機会となった。その他、今後の事業展開について、他事業所を見学して検討した。また、新型コロナウイルスや体調不良による職員の休みでは、作業内容の変更や縮小してその都度対応した。
 新規利用者5名（見学者9名）。延べ利用者数5,794名（2021年度5,318名）
【課題】 特定の職員に依存しない体制づくり。今後の事業展開について引き続き検討。
- ② 利用者の主体性を大切にしたい取り組みと個別支援
 一部の作業で作業マニュアルを作成し、利用者がそれを見ながら自主的にできるようになった。メンバー会に参加しやすい時間帯に変更したことで、参加者が増え、活発な話し合いができた。
【課題】 利用者が自主的に取り組める作業マニュアルの作成、資材の定位置管理、見える化など作業環境の整備。
- ③ 就労移行支援事業所との連携
 就職希望者には就労移行支援事業所が行う公開講座へ参加の促しやプログラムの体験を積極的に行い、一般就労に対する意欲向上につなげた。
【課題】 利用者・就労移行支援事業所双方との課題の共有とわかりやすい目標設定。
- ④ 職員の資質向上
 スタッフ会では個別支援計画を用いて、利用者の希望や課題、それに対する支援方法について話し合った。結果、一人ひとりの希望や課題を共有でき、どんな支援ができるのかを考える場になった。
【課題】 職員がやりがいを持てる職場環境の整備。利用者対応など日々の困りごとについて話し合い・実践・振り返りを繰り返し、次の行動につなげる。

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額（内部取引含む）		工賃平均月額	
		2021年度	2022年度	2021年度	2022年度
軽作業	110	676,976	1,214,526	1,607	2,519
アウトワーク	550	1,990,868	1,317,594	14,340	12,451
清掃	650	1,133,967	994,683	8,666	8,418
販売・Kizuna Shop	200	6,349,996	5,245,543	5,706	3,395
印刷	150	1,420,108	1,640,224	2,091	3,464
ポスティング	5円/枚	24,260	33,258	1,516	1,134
ワゴンカフェ	500	-	83,701	-	10,152
全体		11,596,175	10,529,529	8,520	7,643

Ⅱ－２ 2022年度 就労継続支援B型事業所 事業報告

- 1 信州そば工房きずな 定員20名
長野市柳原 659-1 TEL：026-263-9788 FAX：026-217-5220

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

- ① 生産活動の充実
 麺製造では、そば粉の割合の高い新商品の開発に向けて試作を重ねた。完成には至っていないが、所外の意見を聞きながらネット通販への販路拡大を目標に継続して取り組んでいる。また季節のギフトや年越しそばの営業に力を入れ、麺の売上を維持することができた。一方で製造に係る原材料の値上げが続いたが、商品価格は現状維持とした。軽作業では、新規で箱折作業を得たが、取引先からの作業量が安定せず年度内に休止となった。援農では、取引先を選定し利用者が作業しやすい内容を中心に取り組んだ。
【課題】 安定した製造量の確保、製造機械の保守、商品価格の改定、援農工賃の確保
- ② 今後の事業展開についての検討
 事業を継続していく上で様々な点から検討を重ねた。今後の方向性については、安定した作業量と工賃の確保を目指しながら、報酬体系も踏まえて話し合いを継続していく。
【課題】 安定した作業量の確保、老朽化が進んでいる建物や設備の修繕
- ③ 利用者増と定着
 送迎サービスは、当初の1名から現在2名を対象に毎日行うことで、通所の安定と定着に繋がっている。また、市内の相談支援機関に送迎の状況を周知した。
 新規利用者3名（見学者7名）延べ利用者数3,011名（2021年度2,968名）
【課題】 送迎ルートの拡充と職員体制の確保
- ④ 職員の連携と資質の向上
 スタッフ会で利用者支援について検討し、対応の仕方を共有し支援を行った。
【課題】 支援力の向上
- ⑤ 地域との関りを進展させる
 布野区の花火大会に協賛を行った。年末に年越しそばのチラシ案内を行ったことで、地域の方々から注文を頂いた。
【課題】 地域とのつながりの確保

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2021年度	2022年度	2021年度	2022年度
製造・販売	500～600	11,989,061	12,383,612	19,841	21,294
援農	250～350	469,384	386,587	6,098	3,912
軽作業	150～350	140,065	131,591	1,402	1,478
その他	500	221,531	-	3,737	-
全体		12,820,041	12,901,790	22,429	20,346

(3) ボランティア支援状況

麺製造1名、昼食時の交流1名、援農1名、レクリエーション1名

2 びーんず（主：びーんず） 定員 10 名

長野市篠ノ井御幣川 1233-1 TEL：026-214-5446 FAX：026-214-5449

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

<p>① 利用者の活躍の場づくり</p> <p>菓子作業においては、商品シールの形状や種類、貼る位置を見直し、作業時の混乱を軽減した。菓子・軽作業ともに、作業分担が固定化しないよう意識して利用者に割り振りをを行い、スキルアップを促進した。絆フェスタでの司会や家族定例会での体験発表など作業以外の場面においても、利用者の活躍を促進した。</p> <p>【課題】映像資料を活用したマニュアルの整備や改良。作業以外の場面における、利用者の活躍の場づくり。</p> <p>② 工賃アップに向けた取り組み</p> <p>菓子作業は、インスタグラムを見た団体から販売イベントへの出店依頼を頂き、イベントへの参加が認知度の向上と新規客獲得に繋がった。菓子の原材料費や経費の高騰を受け、販売価格・卸価格の見直しを行い、収入の維持に努めた。併せて押し店チケットや地域新聞店のクーポン配布、8点の新商品開発、季節に応じた店頭飾りつけなどに取り組み、来店意欲・購買意欲を掻き立てるようなお店づくりに努めた。軽作業では、冷凍マシュマロの作業やとっかんの作業、新たに箱折り作業など新規作業を積極的に取り入れ、年間を通して安定した作業量を確保することができた。</p> <p>【課題】週末の販路確保。詰め合わせギフトの商品開発。</p> <p>③ 利用者増と定着</p> <p>見学、体験、実習を積極的に受け入れ、2022年度は新規利用者が3名、養護学校卒業後の新規利用希望が2名あった。既存の利用者に対しては、アンケートによるニーズ調査を実施し、一人ひとりの意欲や目標について理解を深め、定着につなげられるよう取り組んだ。</p> <p>【課題】見学時の説明を円滑に進めるための映像資料の用意・活用。</p> <p>④ 個別支援の充実と職員の資質の向上</p> <p>法人内の研修を活用しながら、短時間職員の研修機会確保に努めた。年度後半に開始したスタッフミーティングでは、ケースワークを中心に情報共有や日々の支援の振り返りなど視点を絞って取り組んだ。期間を置かず短時間のミーティングを重ねることで、実践と振り返りを繰り返すサイクルができてきた。</p> <p>【課題】就職や就労移行支援事業所の利用など次のステップを考える利用者への対応の強化。新規利用者3名（見学者5名）述べ利用者数2,363人（2021年度2,336人）</p>
--

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2021年度	2022年度	2021年度	2022年度
菓子製造(販売)	570、650 (300)	6,391,471	6,980,346	14,673	11,309
軽作業(ノバ作業含む)	150	383,663	446,866	1,934	3,083
全体		6,775,134	7,427,212	10,772	8,077

3 びーんず（従：あんだんて） 定員 10 名
 長野市篠ノ井布施高田 832 TEL・FAX：026-213-6122

(1) 総括（重点目標及び報告、課題）

- ① 今後の事業展開についての検討
 軽食と弁当の開所日を月曜日から金曜日に統一、工賃区分も調理部門は全て「キッチン」、接客は「フロア」に変更し、利用者の作業の行き来を柔軟に行えるようにした。
 【課題】建物の老朽化や広さ、接客や調理を担当できる利用者が限られる等の課題解決のため、スペースの確保や作業内容の精査など総合的な検討。
- ② 利用者のスキルアップに対する支援の強化
 施設外就労の封緘作業は、事業所で練習の時間を設け、担当できる工程を増やせるよう取り組んだ。ワゴンカフェ販売は、セリフカードの作成や販売傾向のフロアマップへの記録など見える化に取り組んだ。定食メニューの調理実習の機会を設けた。コロッケ作りは、マニュアルを活用しながら利用者中心で具材の用意を進められるようになった。
 【課題】マニュアルの整備・改良。
- ③ 地域に愛されるお店づくり
 2021 年度に引き続き、地域の高校運動部の惣菜作りを請け負うことができた。関係団体などには「お弁当屋さん」としての認知が広まり、特注弁当の受注は多かった。推し店チケット、ビッグプレミアム食事券などの事業を活用しながら、誘客に努めた。献立のマンネリ化を防ぐため、新メニューを積極的に取り入れ、好評だった。調理部門にボランティアが入ったことで外部の人とのつながりが増えた。
 【課題】地域ニーズの把握と対応。ボランティアの積極的な受け入れ。
- ④ 職員の連携と資質の向上
 法人内の研修を利用しながら、短時間職員の研修機会を確保するよう努めた。
 【課題】職員間の情報共有や意見交換の時間を定期的に持てるような仕組み作り。
- ⑤ 衛生管理の徹底
 整備した記録様式で定期的に記録が実施できている。
 【課題】勉強会等の実施。
 新規利用者なし（見学者 2 名）延べ利用者数 2,044 名（2021 年度 2,263 名）

(2) 作業種目・売上・工賃（単価：円、賞与を含む）

作業種別	時給	売上額		工賃平均月額	
		2021 年度	2022 年度	2021 年度	2022 年度
軽食（販売）	420、450（300）	4,882,056	-	13,542	-
弁当	450	3,991,655	-	9,686	-
軽食・弁当	420、450（300）	-	9,491,327	-	14,498
施設外	400	992,447	936,897	10,859	12,174
ワゴンカフェ	500～700	435,027	393,890	15,646	11,236
全体		10,301,185	10,822,114	14,814	13,600

(3) ボランティア支援状況

調理 1 名、施設外（法令印刷） 1 名、野菜等提供 2 名

2 職員の有資格者

(名)

	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば工房きずな	びーんず・あんだんて
精神保健福祉士	1	3	2	2
社会福祉士	1		2	1
作業療法士	1			
調理師				2
管理栄養士				1

3 会議の開催日数

B型会議	B移会議 (年6回) 拡大会議 (年6回) 事例検討会 (年4回) 研修報告 (年2回) 利用者増WG (年12回) 就労支援WG (12回) 販売促進WG (年7回)
スタッフ会	年12回

4 実習・視察研修受け入れ (実習人数 27名、視察研修人数 8名)

(名)

日付	実習内容	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば 工房きずな	びーんず あんだんて
5/30~7/7	稲荷山養護学校高等部前期実習				6
6/7~15	長野養護学校職場実習		1		
6/10~14	稲荷山養護学校職場実習		1		
6/16	長野看護専門学校看護実習		2	2	1
6/16、20	長野看護専門学校看護実習	2		1	1
10/6	清泉女学院大学看護実習		2		
10/1~11/18	稲荷山養護学校高等部後期実習				4
11/9~16	長野養護学校職場実習		1		
2/9~27	長野大学精神保健福祉援助実習	1	1		
2/20	長野大学			1	

日付	視察内容	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば 工房きずな	びーんず あんだんて
10/14	若槻養護学校 視察	8			
合計		11	8	4	12

5 当事者研修参加報告 (参加総数 8名)

(名)

日付	研修名 (会場等)	悠友ハウス (就労支援)	悠友ハウス (B型)	信州そば 工房きずな	びーんず あんだんて
9/30、10/1	きょうされん全国大会 in 東北・いわて (岩手県陸前高田市 ゆめアリーナ他)		1		2
1/13	利用者学習交流会 (Zoomにて参加)		5		

2023年3月31日現在

Ⅲ 2022年度 共同生活援助 事業報告

1 総括

2022年度は、老朽化し住居に適さなくなった「リアン若里」に変わるグループホームについて「グループホームあり方検討会」で検討を重ね、新たに「リアン松岡」を開設する準備を進めてきた。

グループホーム全体の職員体制を見直し、各グループホームの支援員を複数体制で配置することで、利用者支援を画一的にならないようにし、利用者が安心して生活できる環境を整えた。また、ここ数年食事の見直しを行ってきており、各グループホームの食費や、メニューの差をなくすため食材や総菜の配達を利用してきた。栄養や金額を一定にすることができた一方、メニューの味付けの平板化などで手作りを望む声もあり課題が残った。

「みらいコーポ稲葉」では高齢利用者の支援を重点的に行ってきたが、障害の特性により居住支援、24時間支援の必要な利用者にも範囲を広げることとし、受け入れを行ってきた。

新型コロナウイルス感染の影響は続いているが、各グループホームともコロナ感染に注意しながら、外出や食事会などの行事を再開するようになり、和やかなコミュニケーションを取り戻しつつある。

2 各グループホームの職員体制及び有資格者

管理者	1名
サービス管理責任者	1名
セルフイー平林	世話人1名（夜間は携帯対応）
リアン若里	世話人1名（夜間は携帯対応）
クレール篠ノ井	世話人1名（夜間は携帯対応）
みらいコーポ稲葉	早番1名、世話人（日勤）2～4名、宿直1名（24時間時間体制）
看護師	2名
介護福祉士	1名

3 入退所者数

入所1名、退所4名

4 会議等

グループホーム会議	年12回
みらいコーポ稲葉スタッフ会	年6回
事例検討会	年4回
短時間職員勉強会	年6回

5 各グループホームの状況（2023年3月31日現在）

セルフイー平林	（定員5人、入居者5名）	長野市平林
リアン若里	（定員7人、入居者3名）	長野市若里
クレール篠ノ井	（定員5人、入居者4名）	長野市篠ノ井
みらいコーポ稲葉	（定員7人、入居者7名）	長野市稲葉

6 利用者の状況

利用者の年齢	40代 4名 50代 2名 60代 6名 70代 7名 平均 62.3歳	障害支援区分	区分2 9名 区分3 5名 区分4 4名 区分5 1名
経済状況	障害年金基礎 16名 障害年金厚生 4名 企業年金 1名 生活保護 3名	日中活動状況 (延べ利用者数)	就労継続支援B型 10名 生活介護 1名 一般就労 1名 デイサービス 5名 デイケア 4名
ボランティア	<ul style="list-style-type: none"> ・セルフィー平林 部屋の片づけ、夕食作り ・リアン若里 ギター演奏 ・クレール篠ノ井 ハンドマッサージ ・みらいコーポ稲葉 ピアノ伴奏、壁画、おやつ作り 	ホーム内活動	行事：誕生日会、クリスマス会、食事会（外食） その他：メンバー会（月1回）、 防災訓練（年3回）
		実習生受け入れ	長野看護専門学校（Zoom配信）

IV 2022年度 短期入所 事業報告

みらいコーポ 稲葉（1床）長野市稲葉

2022年度は、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者が安心して過ごせるよう受け入れを行った。上半期はコロナ過の影響が残り、利用者が少なく、必要な人にサービスが届かなかったため、ホームページ等を活用した広報活動に力を入れた。登録のある利用者には積極的に声掛けを行い、利用者のニーズに沿って個別対応（面談等）も行ってきた。2022年度上半期月平均利用日数 21.6日、下半期月平均利用日数 30.8日（2021年度月平均利用日数 26.3日/月）。

V 2022年度 地域活動支援センター 事業報告

地域活動支援センターⅢ型S 皆神ハウス 定員 20名
長野市皆神台 157 TEL : 026-278-7466 FAX : 026-285-0579

1 総括

2022年度 登録者 125名 (2021年度 120名) 新規登録者 22名 (2021年度 7名)

2022年度は、コロナ禍であったが、感染対策をしてメンバー会からの意見を取り入れ事業を行ってきた。皆神台区との共催事業として、防災講座を連続して開催、ギャラリー展示では、地域の方の展示や「かがやきひろば松代」の自主グループの展示販売を行うなど、地域とのつながりを意識した事業を行った。また、手仕事や食事のプログラム、みなかみカフェ等をボランティアの協力を得ながら実施することができ、ボランティアの力を改めて感じた。

毎月行っている家族茶話会では、新しい家族がまたさらに家族を誘い学習会を始めるなど、活発になってきた。

「リアン若里」跡地への移転が決まり、2023年度に向け、利用者、ボランティア、家族等からの声を聞くこと、また、今まで培ってきた地域との関わりを最後まで丁寧に行うことを大事に、事業を行ってきた。

2 利用者の状況 (名)

① 年齢

20代	30代	40代	50代	60代	70代	その他	合計
6	21	25	37	15	3	18	125

② 保健福祉

精神障害者保健福祉手帳	療育手帳	身体障害者手帳	障害年金	生活保護
99	14	2	85	3

③ 生活の状況 (利用者のみ)

家族と同居	グループホーム	一人暮らし	入院中
91	5	20	3

④ 在宅地域・活動場所

長野市	千曲市	上田市	須坂市	坂城町	その他の地域	一般就労	A型・B型・移行
107	12	2	1	1	2	27	28

3 職員配置

所長：1名 (常勤・専従)、支援員：3名 (常勤・専従1名 非常勤・専従2名)

4 利用実績 (延べ数)

開所日数	236日	家族来所者	285名
利用登録者数	125名	見学者	15名
利用者数	4,261人	実習生受け入れ	6名
来所相談	2,895件	ボランティア参加	268名
電話相談	4,963件	関係機関来所者	355名

訪問	8件	メール等	46件
同行	3件		

5 事業内容

① 創作的活動及び講座等プログラム活動

手しごとカフェ（6回） コラージュ（11回）
 新さんの料理教室（6回） 作って食べようお昼ごはん（5回）
 手芸を楽しもう（14回） 水彩画（3回）
 皆神映画館（6回） 音読会（11回）

② 野外活動

お花見(青垣公園)
 散策
 ジブリパークとジブリ展へ行こう（長野県立美術館）
 新年会（善光寺）

③ 生産活動

喫茶コーナー従事（9回）
 看板作り等（3回）

④ 普及啓発に関する事業

リーフ通信（12回発行）
 ギャラリー展示 通年をとおして開催

⑤ ボランティア活動

コラージュ、書道、創作活動、みなかみカフェ、昼食会、防災学習、手しごと等の行事にボランティアの協力あり。

6 当事者育成事業

メンバー会・ひまわりの会・ピアカウンセリング・家族会・音読会等

7 研修生・実習生受け入れ

長野大学（1名）、精神保健福祉ボランティア養成講座受講生（2名）

VI—1 2022年度 相談支援事業 事業報告

絆の会相談室

長野市稲葉15-7 TEL：026-217-6637 FAX：026-213-6444

(職員：長野市委託相談員1名、相談支援専門員5名(うち市地域移行支援専門員1名))

1 総括

2022年度は、相談室を長野市中心部である「つむぎの家」跡地へ移転したことで利便性が向上し、精神科病院との距離が近くなりタイムリーな支援につながった。また、主任相談支援専門員を配置しスーパーバイズを行い人材の育成を図るとともに、各種研修へ積極的に参加し支援の質の向上に努めた。複合的な問題を抱えている相談が増えてきており、相談支援専門員の支援も問題解決に時間を要することが多く、また多岐にわたっている。

2 計画相談支援・地域相談支援事業

2022年度の計画相談支援は、年度途中での職員体制の変更などがあり担当件数の調整が必要となったが、スタッフ間での情報共有に努め、一人ひとりの利用者への丁寧な支援を心がけた。

地域移行支援は、新型コロナウイルスの影響により見学や退院に向けての宿泊体験、日中活動の体験が中断することが続いたが、月平均2～3人の支援を行い、5名の退院が実現した。

地域定着支援は、安定した地域生活を継続していかれるよう体制づくり等の支援を行った。実人数5名の支援を行った。

障害支援区分の認定調査は27件行った。

3 自立生活援助事業

2022年度は、相談支援専門員と連携しグループホームを退去し一人暮らしを始めた方や家族の入院等で急に単身生活になった方などに対し、訪問による支援を行った。また、訪問だけでなく生活に必要な備品の購入や様々な手続きへの同行支援も行うことができた。実人数8人の支援を行った。

4 長野市受託事業

(1) 長野市障害者相談支援事業・南部障害者相談支援センター

長野市川中島町今井1387-5 ハーモニー桃の郷3階 TEL：026-274-5871

開設時間：8：30～17：15（月～金曜日）

① 総括

相談窓口としての役割が市民にも周知されてきており、相談件数は増加傾向にある。相談支援事業所が集まるケアマネ連絡会に参加し、相談支援専門員の活動をバックアップするとともに南北障害者相談支援センターの連絡会では情報交換や地域課題を共有し連携を図った。自立支援協議会（長野市障害ふくしネット）では、新たに地域課題のワーキンググループができたため、他法人と協力しながら課題解決に向け、積極的に参加している。今後は基幹相談支援センターの設置について細部の検討と具体的な活動が期待される。

② 活動実績

令和4年度相談件数実績

1 相談件数

絆の会相談室(長野市南部障害者相談支援センター)

(1)相談した障害者等の人数

(実人数)

項目	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
身体障害	障害者	0	23	18	9	7	12	19	23	16	16	3	7	153
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	23	18	9	7	12	19	23	16	16	3	7	153
重症心身障害	障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知的障害	障害者	8	18	8	3	10	39	24	29	11	12	9	8	179
	障害児	0	0	7	2	0	0	2	2	0	0	0	1	14
	計	8	18	15	5	10	39	26	31	11	12	9	9	193
精神障害	障害者	26	24	40	46	49	31	36	40	36	40	45	57	470
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3	1	7
	計	26	24	40	46	49	31	36	41	36	42	48	58	477
発達障害	障害者	1	1	6	3	5	3	6	11	10	19	23	20	108
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2
	計	1	1	6	3	5	3	6	12	10	20	23	20	110
高次脳機能障害	障害者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	障害者	1	3	5	6	6	4	10	9	16	16	17	16	109
	障害児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	3	5	6	6	4	10	9	16	16	17	16	109
合計	障害者	36	69	77	67	77	89	95	112	89	103	97	108	1,019
	障害児	0	0	7	2	0	0	2	4	0	3	3	2	23
	合計	36	69	84	69	77	89	97	116	89	106	100	110	1,042

(2)支援方法

(延件数)

訪問	5	6	8	5	2	5	5	10	8	11	5	6	76
来所相談	2	5	4	4	8	8	7	11	8	8	8	11	84
同行	0	4	5	9	4	6	3	6	8	2	7	4	58
電話相談	11	24	36	18	25	29	36	44	22	38	43	36	362
電子メール	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
個別支援会議	5	6	3	3	3	5	4	9	5	2	2	4	51
関係機関	31	49	49	47	48	52	75	48	49	71	65	69	653
その他	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	3	0	10
合計	55	94	105	86	90	105	130	129	102	136	133	130	1,295

(3)支援内容

(延件数)

福祉サービスの利用等	43	77	92	75	81	100	98	87	72	92	91	93	1,001
障害や症状の理解	1	2	3	2	3	5	14	14	21	15	48	14	142
健康・医療	3	16	17	9	18	29	56	57	50	54	57	61	427
不安の解消・情緒安定	3	2	4	0	5	0	21	35	12	48	74	51	255
保育・教育	0	0	5	3	1	0	1	4	0	2	0	0	16
家族・人間関係	4	3	2	0	6	1	8	20	22	14	35	25	140
家計・経済	3	5	9	8	12	11	32	45	34	42	51	57	309
生活技術	0	1	4	1	1	2	49	59	58	30	31	45	281
就労関係	0	9	13	15	14	18	35	38	26	19	31	42	260
社会参加・余暇活動	0	1	4	11	8	13	17	28	6	4	7	4	103
権利擁護	0	1	0	0	0	0	1	0	0	1	3	0	6
その他	3	5	3	0	0	1	0	0	0	0	0	1	13
合計	60	122	156	124	149	180	332	387	301	321	428	393	2,953

(4)相談者別件数

(延件数)

相談者別	本人	16	33	42	28	33	41	27	56	42	51	51	44	464
	家族	8	17	24	17	16	24	30	40	22	18	24	27	267
	その他	19	49	58	45	51	64	90	62	65	78	80	79	740
合計	43	99	124	90	100	129	147	158	129	147	155	150	1,471	

(5)障害別件数

(延件数)

障害別	身体障害	0	33	26	10	9	13	23	29	21	20	5	7	196
	知的障害	11	27	17	5	13	48	38	37	11	17	9	10	243
	精神障害	42	31	51	62	57	37	54	39	37	57	69	67	603
	発達障害	1	1	6	4	5	3	5	14	15	21	28	28	131
	その他	1	2	5	5	6	4	10	10	18	21	22	18	122
合計	55	94	105	86	90	105	130	129	102	136	133	130	1,295	

(2) 長野市障害者地域移行コーディネーターセンター

① 総括

2022年度は、精神科病院だけでなく更生保護施設や圏域の障害者相談支援センターから地域移行に関する相談を受け、指定一般相談支援事業所と連携し地域移行を推進してきた。新型コロナウイルスの影響により中断するケースもあったが、他法人の指定一般相談支援事業所と情報の共有に努めたことで、地域の支援体制の強化につながった。

長野市障害ふくしネット「地域でいこう委員会」では、2021年度作成した支援者向けの地域移行支援に関するガイドブックを、精神科病院など地域移行支援に関わる機関に訪問し配布することができた。また、地域移行支援に携わる事業所を増やすため「指定一般相談支援事業所連絡会」を開催するようになった。

千曲・坂城、須高地域（須坂市・小布施町・高山村）、北部地区（飯綱町・信濃町）では自立支援協議会に参加するとともに個別の相談にも対応した。

② 活動実績

協議会又は地域自立支援協議会への参加	39回
圏域及びネットワーク会議への参加	20回
一般相談支援事業所連絡会への参加	2回
支援者数	54人
退院者数	5人

《退院者の内訳》

男性	3	平均年齢 48.3 歳	入院期間	1 年未満	3 年未満	5 年未満	10 年未満
女性	2	平均年齢 50.0 歳	人数	3	1	1	0

《退院先一覧》

アパート(单身)	グループホーム
1	4

③ 年間相談件数

訪問	相談 (来所含む)	同行	電話	電子メール	個別支援会議	その他	計
14	74	54	531	20	30	0	723